

自然教室2021

=天候への対応力を含めて、自分たちの「のび」を見つめつことができました=



今月号は5年生を中心に書かせて頂きます。昨日、5年生は自然教室に行ってきました。今年度も、感染症予防のために宿泊を伴わず、篠栗町の福岡県立社会教育総合センターにて日帰りで行いました。今年度の学年のスローガンは、次の通りでした。

「かげひなたなく行動し、礼儀正しくメリハリをつけて自然教室を成功させよう」

前日から、雨の予報が出ており、充実した活動ができるか、大変心配しました。樹芸の森ハイキングは急遽、天候や時間を考慮し、上りなし、下りのみの活動となりましたが、11月9日の「志免町フォトラリー」での振り返りを生かしながら「のび」の見られる活動となりました。

昨年度もお伝えしたのですが、この活動の主な目的は、社会のルールを学ぶとともに、よりよい人間関係を築くことができるようにすること（困難を克服していく中で、お互いの「よさ」を認め合う）。自然体験を通して、豊かな情操や創造性を養うことです。



事前体験を通して

友だちと地図を見ながら → 東中学校にも立ち寄り → 振り返りを行い、よさと可能性を見つめました。



本体験に臨みました

たくさんの「協力」の中で、たくさんの笑顔が見られました。室内競技は「カブラ積木」とパラリンピックの競技でもあった「ポッチャ」。ここでも協力が大切でした。



素敵なお返事がたくさんありました

- フォトラリーで、なかなかまとまって行動できなかったけど、反省を生かして今日は協力できました。友だちっていいなと思いました。
- できることが増えました。これからの6年生に、修学旅行につなげたいです。

子どもたちの振り返りの中に「6年生」という言葉がたくさん出てきたことが心に残りました。今を見つめつつ、未来に目を向けている姿に出会えてことを、心から嬉しく思います。活動の最後に述べられた学年主任の中木原先生の言葉でこの通信を閉じます。

今日の活動の中では、みんなの中にたくさんの「気づき」がありました。「気づく」って大切なことです。周りの出来事に気づいていくことで、未来を見つめることができるようになります。そして、そんな「気づき」を繰り返して、積み重ねていくことで、君たちの姿ももっともっと伸びていくと思います。そして何よりも、君たちを支えてくださっているたくさんの周りの人たちに感謝の心を忘れないようにしていきましょう。

キャンドルに誓った6つの思い

- 私たちは周りをよく見て、その場に合わせた空気を自分から率先して作ることを誓います。
- 私たちは、みんなが笑顔になれるような学校を作り上げることを誓います。
- 私たちは、6年生に向けてこれからも切り替えを大切にしていこうことを誓います。
- 私たちは、力を合わせみんなで協力し合うことを誓います。
- 私たちは、さらに成長してみんなに頼られる6年生になることを誓います。
- 私たちは、班、クラス、そしてみんなですらに絆を深めることを誓います。

第3ステージ最後の月。また、令和3年最後の月です。5年生の活動の中で見えた「のび」を、全学年一人ひとりについても、お互いが気づき合えるよう、まとめを行ってまいります。